



港区立小中一貫教育校

白金の丘

白金の丘小学校・白金の丘中学校

令和3年10月1日

第6号

教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761
Email:sirokanenooka-ej@minato-tky.ed.jp HP:http://sirokanenooka-ej.minato-tky.ed.jp

学校行事の意義

校長 小林 傑

空が高くなり、さわやかな秋風が吹く季節となりました。

秋は心地よく、スポーツや芸術など何をするにも適した季節です。こうしたことから、白金の丘学園ではこの2学期に、様々な学校行事を設けています。具体的には中学校では10月30日に学習発表会「白祭」が、小学校では10月16日に体育的行事「秋のスポーツフェス」や11月20日に文化的行事「音楽会」が開かれる予定です。現在、児童・生徒は、それぞれの行事に向け、実行委員会にて計画を立て、実行委員が児童・生徒を動かすほか、学級や学年で一生懸命練習に励むなど、頑張っています。

学校教育では、子供たちのためにたくさんの活躍の場を設定しています。その一つが学校行事であり、子供たちが自身の役割を認識し、級友や上級生・下級生と一緒に「成功させたい」という思いをもつなど、心の成長においても学校行事は意義深いものとなっています。特に今年度は、コロナ禍で児童・生徒は様々な制約を受けながら生活しています。こうした状況において、子供たちがそれぞれの学校行事に向け一生懸命活動をしている姿を見ると、いままで実施できなかったのが当たり前と想定していたことに対しても、改めて行事ができる喜びを感じているのではないのでしょうか。その意味では、子供たちは例年よりも周りに感謝するなど、心が成長しているとも言えます。

子供たちは、子供たちなりに現在のコロナ禍を理解し、その環境で意欲を持ちながら生活しています。だからこそ、今、子供たちの活動意欲をさらに高めていくために、周りの大人がコロナ禍において「やりがい」や「楽しさ」を感じられる場を提供しつつ、子供たちの活動を見守り、時には助言しながら認め励ますことが大切なのではないのでしょうか。

学園は、これからも子供たちの笑顔と真剣な姿がある学園を目指していきます。保護者の皆様には、コロナ禍で直接学園でのお子様の様子を見られる機会が少なくなりますが、ご家庭で学校行事への取組などを話題にさせていただき、温かな声掛けをお願いします。

※学園では、子供たちが時間を守って気持ちよく1日がスタートできるように今年の1月から1日に1回8時25分にチャイムを鳴らしています。9月の緊急事態宣言中は本学園の校歌を作詞・作曲した都倉俊一先生が、コロナ禍で皆が元気になることを願って作った「がんばれ!がんばれ!」をチャイムとして流しました。児童・生徒の意識が高まるなど効果が出ています。

特別支援教室の通室及び学習支援員の配置(令和4年度1学期)の申込みについて

平成28年度から、発達について気になる児童・生徒を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通室指導を行う特別支援教室(けやきルーム)を開室しております。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通室あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は10月15日(金)までに、担任、または副校長に御相談ください。

※なお、来年度以降も継続して特別支援教室の利用や学習支援員の配置を希望される保護者の方につきましても、10月15日(金)までに、担任、または副校長に連絡してください。

問い合わせ:03-3441-5363/5361 副校長 内田(小)・西野(中)